

2026 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 鹿 島 建 設 株 式 会 社
代 表 者 代表取締役会長 兼 社長 押味 至一
(コード番号 1812 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 財務本部主計部長 永江 真一
(TEL. 03-5544-1111 (代表))

業績予想の修正に関するお知らせ

最近のセグメントごとの業績動向等を踏まえ、2025 年 11 月 11 日に公表した 2026 年 3 月期 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日) の連結業績予想及び個別業績予想を上方修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期通期業績予想の数値の修正

(1) 連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3,000,000	202,000	200,000	155,000	331 円 98 銭
今回修正予想(B)	3,030,000	228,000	226,000	170,000	364 円 11 銭
増減額(B - A)	30,000	26,000	26,000	15,000	
増減率(%)	1.0%	12.9%	13.0%	9.7%	
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	2,911,816	151,882	160,663	125,817	266 円 49 銭

(2) 個別業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,660,000	142,000	154,000	125,000	267 円 18 銭
今回修正予想(B)	1,690,000	166,000	178,000	142,000	303 円 52 銭
増減額(B - A)	30,000	24,000	24,000	17,000	
増減率(%)	1.8%	16.9%	15.6%	13.6%	
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	1,560,016	114,767	126,985	104,747	221 円 42 銭

2. 修正の理由

連結業績につきましては、個別業績予想の上方修正を主因に、売上高及び利益が前回発表予想を上回ると予想しており、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想から 150 億円増加し、1,700 億円となる見通しです。

個別業績予想は、建築事業における施工が総じて順調であることから当期末の進捗率を見直し、売上高が増加する見通しです。また、原価低減や追加変更契約の締結などにより建設事業の売上総利益が増加する見込みであり、売上高及び利益の予想を上方修正しています。建設事業の売上総利益率は 14.7%（土木 23.3%、建築 11.6%）となり、前回発表予想 13.5%（土木 21.4%、建築 10.5%）を上回る見通しです。

なお、国内関係会社は、建設事業の収益性向上により親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を上回る見通しです。海外関係会社につきましては、建設事業の利益が前回発表予想を上回る一方で、欧米や東南アジアの開発事業において、金利の低下や不動産売買市況の改善を見据え、売却時期を当期から次期以降に変更した開発物件が増加したことを主因に、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を 50 億円下回ると見込んでいます。為替レートは 2025 年 12 月末時点の 1 米ドル 156 円 56 銭にて換算しています。

（参考）個別、国内関係会社、海外関係会社別の親会社株主に帰属する当期純利益予想

（単位：百万円）

	連結	個別	国内関係会社	海外関係会社
前回発表予想(A)	155,000	125,000	25,000	15,000
今回修正予想(B)	170,000	142,000	26,000	10,000
増減額(B－A)	15,000	17,000	1,000	△5,000

（注）国内関係会社、海外関係会社の数値は、内部取引等調整前の数値を記載している。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績等は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上